

2024年3月期

株主通信

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

 日本調剤株式会社

▶ 会社案内

<https://www.nicho.co.jp/corporate/profile/>

▶ 株式基本情報

<https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/stock/basic.html>

▶ 株主優待のご案内

<https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/stock/incentives.html>

▶ 配当の状況

<https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/stock/dividend.html>

▶ 日本調剤オンラインストア

<https://store.nicho.co.jp/>



新社長として、大きく変化する業界環境に対応した 新長期ビジョンの策定に取り組んでまいります

この度の能登半島地震において被災された皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。当社の薬局も4店舗が被災しましたが、支援チームを現地に派遣し、当社薬局のみならず、被災地の皆さまへのサポートも実施をまいりました。被災された地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

5月1日付けで日本調剤グループの代表取締役社長を拝命いたしました。三津原庸介前社長が築いた堅固な基盤と、その長年にわたる経営の知恵を受け継ぎつつ、株主の皆さまのご期待に添えるよう全力を尽くしてまいります。

2024年3月期の日本調剤グループの各事業におきましては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行する中、調剤薬局事業では、引き続き在宅医療、オンライン医療、スペシャリティ医薬品の利用促進とともに事業は順調に拡大いたしました。医薬品製造販売事業におきましても、ジェネリック医薬品の供給不安が続く中、高品質な医薬品の安定供給を経営の最優先事項として売上・利益ともに成長しております。医療従事者派遣・紹介事業におきましても、社会経済活動が再開される中、主力の薬剤師派遣事業を中心に事業は順調に拡大しております。

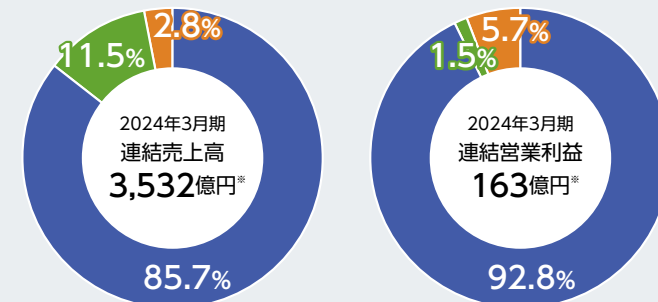
最後に、新しい長期ビジョンについて、私たちは2024年9月から11月での公表を目指しております。新経営陣と従業員が一体となって、当社グループの事業環境に即した成長戦略やプライム上場企業に相応しいコーポレート・ガバナンスの強化、時代に応じた財務戦略の見直しなど、幅広い経営課題について議論を推し進めてまいります。これらの取り組みを通じて、株主の皆さまにさらに信頼されるグループを目指してまいります。

株主の皆さまには引き続き、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。新たなスタートを切る日本調剤グループにご期待いただければ幸いです。

代表取締役社長 社長執行役員
笠井 直人



日本調剤グループの事業展開



■ 調剤薬局事業 ■ 医薬品製造販売事業 ■ 医療従事者派遣・紹介事業

※連結売上高、連結営業利益は、3つの事業セグメントの合算数値です。調整額を控除しておりません。各数値は単位未満を切り捨て、比率については単位未満を四捨五入しております。

調剤薬局事業

●日本調剤株式会社 ●その他調剤子会社

調剤薬局のリーディングカンパニー

売上高	営業利益	薬局店舗数
3,028 億円	151 億円	736 店舗

情報提供・コンサルティング事業

●株式会社日本医薬総合研究所

高付加価値情報・サービスの提供

医療ビッグデータを基盤に4つの事業でお客さまをサポート

- 医療情報サービス
- 広告媒体サービス
- 調査・研究サービス
- データヘルス支援サービス

※情報提供・コンサルティング事業の業績については連結決算上、調剤薬局事業セグメントに含めております。

医薬品製造販売事業

●日本ジェネリック株式会社 ●長生堂製薬株式会社

フルラインジェネリックメーカー

売上高	営業利益	販売品目数
404 億円	2 億円	516 品目 (一般用医薬品1品目を含む)

医療従事者派遣・紹介事業

●株式会社メディカルリソース

医療分野に特化した人材サービスカンパニー

売上高	営業利益
99 億円	9 億円

信頼性



事業内容

<https://www.nicho.co.jp/corporate/business/>

日本調剤グループの災害への取り組み及び 令和6年能登半島地震に対する支援活動

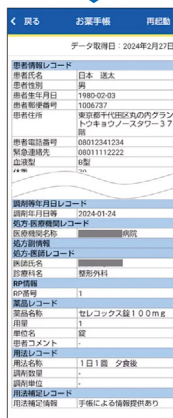
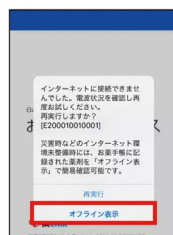
日本調剤グループでは、マテリアリティの一つとして、「地域の医療・福祉インフラとしての薬局の持続的な運営、災害・パンデミック等への対応」を掲げており、災害時などの非常事態においても医療の提供を継続できる体制を整備し、事業活動を通じた貢献と経営基盤の強化の両面から、この課題解決に向けた様々な取り組みを進めております。また能登半島地震に対しては、発災直後から社長をトップとする対策本部を設置し、被災された皆さま、ならびに当社従業員やそのご家族の生命と安全を最優先に、被災地の支援を行っております。

日本調剤の電子お薬手帳「お薬手帳プラス」と「NiCOMS」の活用

日本調剤の電子お薬手帳「お薬手帳プラス」に 災害時も安心のオフライン表示機能を追加

通常利用時にアプリを開くと、「お薬手帳プラス」に登録されている過去6カ月分の薬剤情報と、会員情報として登録されている患者さま情報がスマートフォンなどの端末内のローカルストレージに自動保存される新機能を追加しました。通信環境が十分でない環境下で「お薬手帳プラス」を開くと、オフライン表示が可能になり、ローカルストレージに保存されたデータを簡易版のテキスト形式で閲覧可能になります。

これにより、通信が遮断された状態でも、いつでもどこでも「お薬手帳プラス」内に登録された服用歴や患者さま情報を確認することができ、災害時に診察や処方箋の発行が難しい場合でも、スムーズに適切な医療を受けることができます。



電子お薬手帳「お薬手帳プラス」
▶ <https://portal.okusuriplus.com/>



「NiCOMS」によるオンライン服薬指導サービスの利用で 被災地からでもスムーズに医療を受けることが可能

日本調剤のオンライン薬局サービス「NiCOMS（ニコムス）」は、スマートフォンやパソコンを使って薬剤師から服薬指導を受けたり、薬の相談をすることができるサービスです。距離に関係なく薬剤師とつながることができるため、被災地で不足している医薬品がある場合は、被災地外の在庫に余裕がある薬局から説明を受けて受け取ることも可能です。

災害時への備えとして、この機会に「お薬手帳プラス」と「NiCOMS」に登録してみませんか。



*1 代引き支払いもご選択いただけます。 *2 ご自宅以外のお届けはご相談ください。

「NiCOMS」
▶ <https://nicoms.nicho.co.jp/>



能登半島地震の被災地支援

罹災した現地薬局の早期再開

1月1日の発災直後、当社が運営する薬局では3店舗*が被災により臨時休業することとなりましたが、休業中においても来局された患者さまにはできる限り対応するように努めました。1月5日にはワイプラザ薬局（石川県輪島市卓田町）、1月9日には門前町薬局（石川県輪島市門前町）で通常営業を再開しました。

なお当社からは、発災直後から執行役員をはじめ、薬剤師、事務職員、及び災害対策対応サポート要員延べ30数名を派遣し、被災した店舗の迅速な復旧に取り組み、医薬品を必要とする方々のために薬局の早期再開に注力しました。また、災害支援を継続的に行うため、全国から派遣された常時7名の薬剤師と1名の事務職員の体制で、店舗運営を中心に被災者の方への医薬品の供給支援を行ってまいりました。

今後も、現地の状況を常に把握し、被災地の皆さまに最適な支援策を実施してまいります。

* ワイプラザ薬局に近接する輪島薬局は、当社の薬剤師や職員の復旧活動支援拠点としているため、2024年3月末時点も臨時休業中です。

現地における生活用水の確保・トイレ環境の整備

罹災によって水道インフラの復旧に数カ月かかると予測されていた状況から、当社支援チームは大型ポリタンクなどを調達して被災地入りしました。門前町薬局やワイプラザ薬局の裏の川から水をくみ上げる「取水ポンプ」を設置・地域の皆さまに開放することで、被災地の生活用水確保に役立っています。

また、門前町薬局と輪島薬局の前には、河川水源からくみ上げた水を浄化することにより生活用水として活用できるようにする「災害時移動型RO無菌浄水装置」を設置しており*、薬局を利用する患者さまや近隣住民の方々にもご活用いただいています。この他、浄水装置をトイレに繋げる配管作業を行い*、通常時と同じように水洗トイレを利用することができています（温水洗浄便座も使用可能）。

* 輪島市役所の許可を得た上で設置しております。

オンライン診療やオンライン服薬指導のさらなる推進・普及を目指し、 患者さまにとってより利便性の高いサービスの提供に努める

「LINEドクター」「CLINICS」での処方薬の対面受け取り対応を開始*

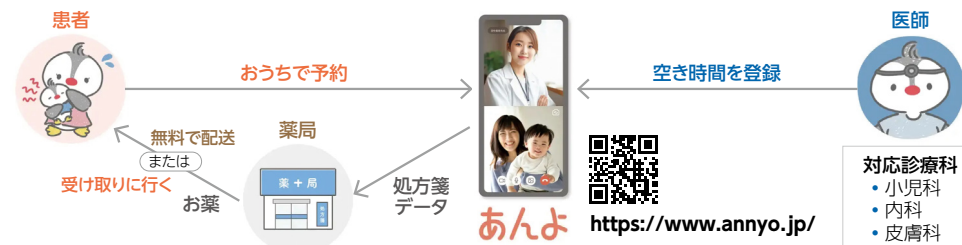
オンライン診療「LINEドクター」は、「LINE」アプリ上で診療の予約、無料ビデオ通話での診療、決済を完結することができるサービスです。オンライン診療・服薬指導アプリ「CLINICS」は、インターネットを通じて、自宅や職場からいつもの医師との診察、薬剤師との服薬指導を受けることができます。

これまで「LINEドクター」では、処方薬の受け取りは配送に限られていましたが、当社と連携し、新たに予約時に選択した調剤薬局での処方薬の「対面受け取り」機能が追加されました。また、「CLINICS」に登録された日本調剤の薬局では、これまで処方薬の受け取りは配送に限られていましたが、このたび処方箋送信申し込み時に選択した薬局での処方薬の「対面受け取り」への対応を開始しました。これらにより両オンライン診療サービスでは、処方薬の配送料は不要となるほか、「出来るだけ早くお薬を受け取りたい」というニーズに応えられるようになりました。

* 「LINEドクター」：118店舗の調剤薬局にて対応を開始し、今後は全国の店舗へ順次対応予定。
「CLINICS」：一部の薬局は除く。



「あんよonline」「SOKUYAKU」との提携薬局の展開



「あんよonline」は、小児科にかかりたいお子さまとそのご家族と在宅で働きたい医師をつなぐオンライン診療サービスです。また「SOKUYAKU」は、自宅やオフィスに居ながらオンライン診療、服薬指導、処方薬の受け取り（最短で当日中）を可能にするアプリです。

このたび当社は、「あんよonline」でのオンライン診療後に処方薬の受け渡しを行う提携薬局として愛知県/岐阜県/東京都内の薬局を、「SOKUYAKU」では全国18店舗の薬局をそれぞれ提携しました。これからも当社は、時間や場所にとらわれずにヘルスケアサービスを受けられるよう環境を整えるとともに、継続的な利用をサポートしてまいります。



Information

『5COINS PHARMA』を他社薬局「アイリスファーマ」「ペガサスメディカル」で販売開始

『5COINS PHARMA』は、セルフメディケーション推進にあたり、OTC医薬品の価格が一つの課題であるとの考えから当社が開発した、業界初^{*1}の価格均一OTC医薬品ブランドです。品質と有効成分量にこだわった上で、原則税込550円^{*2}のお手頃価格を実現しており、解熱鎮痛薬や胃腸薬、トローチなど、常備薬としても使いやすい19品目を展開しています。

これまでは全国の日本調剤の薬局及びヘルスケア通販サイト「日本調剤オンラインストア」でのみ販売していましたが、このたび、アイリスファーマが運営する薬局4店舗、ペガサスメディカルが運営する薬局6店舗での販売を開始しました。当社は、『5COINS PHARMA』の販売・流通を通して、さらなるセルフメディケーションの推進に貢献してまいります。

*1 当社調べ *2 『5COINS PHARMA』シリーズには、一部税込1,100円の商品もございます。



事業別パフォーマンス

● 医薬品製造販売 ●

ジェネリック医薬品1成分1品目を発売

日本ジェネリックでは、2023年6月と9月にジェネリック医薬品6品目（3成分）の販売を開始したことに続いて、2023年12月にジェネリック医薬品1品目（1成分）の販売を開始しました。

12月発売の新製品

エンドセリン受容体拮抗薬	● アンプリセンタン錠	2.5mg 「JG」
--------------	-------------	------------



アンプリセンタン錠

日本ジェネリックのつくば工場に太陽光発電設備を導入

つくば工場では、東京センチュリー（株）と京セラコミュニケーションシステム（株）から、SDGs達成に資する寄付型コーポレートPPA（自家発電サポートサービス）の提供を受け、太陽光発電設備を導入しました。敷地内のグラウンドに設置した太陽光発電設備で発電した再生可能エネルギー電力を使用することにより、年間約347.1t-CO₂（初年度見込）の二酸化炭素を削減します。また本サービスは、初期コストや手続きを前掲2社が引き受けた上、東京センチュリーからのSDGs達成に向けた活動を行う公益法人やNPO法人への寄付実施を含めた取り組みとなります。



● 医療従事者派遣・紹介 ●

医師向け 「ドクタービジョン」にて隙間時間にスポットバイトへ応募可能な「スポット勤務マイページ」機能をリリース

「ドクタービジョン」はメディカルリソースが運営する、医師の求人・転職に特化した専門サイトです。スポットバイトの勤務先を探している医師の多くは、「通勤時間」や「休憩時間」などの隙間時間に求人を探しており、それぞれの働き方に合わせた時間帯での求人検索や応募が難しい場合があります。

このたびリリースした「スポット勤務マイページ」機能は、それらの問題を解消すべく、少しの空き時間でも自分で気軽に、かつ簡単にスポットバイトの勤務先を探せるツールとして、カレンダー形式で一括管理ができるシステム等を新たに搭載しています。



日本調剤 グループニュース

2023年10月1日～2024年3月31日

2023

10月

「NiCOMS」公式サイト

医療機関・団体向けページをリニューアル
オンライン化を進める医療機関に役立つ情報を拡充

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20231010_nr1/

医薬品情報WEBプラットフォーム「FINDAT」を他社薬局へ本格展開開始

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20231002_nr2/



『日本調剤監修
常備薬、処方薬、
説明書をひとまとめ！
お薬収納ポーチBOOK』
（出版：宝島社）

付録のポーチは仕切り付きなのでたくさんのお薬を整理して収納できるほか、表地に撥水加工を施しているので防災ポーチとしても使用できます。誌面では、OTC医薬品の基本情報に加え、原則税込550円*のOTC医薬品シリーズ『5COINS PHARMA』、処方薬やOTC医薬品の管理ができる電子お薬手帳「お薬手帳プラス」の機能などを紹介しています。全国の書店やネット書店のほか、宝島社公式通販サイト、日本調剤オンラインストアよりご購入いただけます。

*『5COINS PHARMA』シリーズには、一部税込1,100円の商品もございます。

11月

「NiCOMS」を活用した

企業でのオンライン栄養相談を開始

健康経営推進へ管理栄養士が社員の健康をサポート

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20231107_nr1/

好評につき第2弾！

『日本調剤監修 常備薬、処方薬、説明書をひとまとめ！お薬収納ポーチBOOK』が発売

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20231113_nr2/

12月

日本政策投資銀行による

「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」を取得

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20231211_nr2/

Sustainability Data Bookを更新

https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/news/auto_20231218504895.html

2024

1月

日本調剤の薬剤師が執筆協力した書籍

『バイオシミラー 臨床から導入マネジメント』が発売

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20240130_nr1/



『バイオシミラー
臨床から
導入マネジメント』
（出版：薬事日報社）

日本調剤の薬剤師が執筆した箇所では、バイオ医薬品フォーミュラーの現状と課題や、バイオシミラー普及の方策としてのフォーミュラーの展望について紹介。また、日本調剤が提供する医薬品情報WEBプラットフォーム「FINDAT」のバイオ医薬品フォーミュラーの事例を踏まえた作成の実態についても掲載されています。全国の書店やネット書店、及び薬事日報社ホームページよりご購入いただけます。

2月

CDP「気候変動レポート2023」にて

「B」スコア評価を獲得

https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/news/auto_20240209531563.html

3月

「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定 ～グループ各社における健康経営の取り組みも評価～

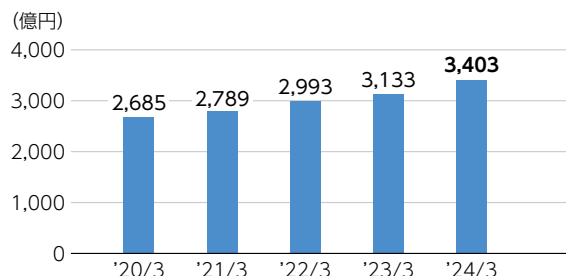
https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20240312_nr1/

▶ ニュースリリース <https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/>

連結財務ハイライト

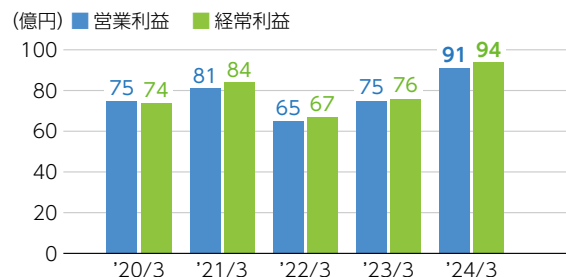
■売上高

調剤薬局事業は、前期の出店効果及びインフルエンザ等の感染症流行に伴う処方箋枚数の増加等により8.1%の増収。医薬品製造販売事業は、既存品及び新規薬価収載品の販売が好調に継続し4.8%の増収。尚、販売品目数は品目見直しが進み516品目となり、限定出荷品目数は順次通常出荷の回復により137品目となる。医療従事者派遣・紹介事業は、主力の薬剤師派遣・紹介が引き続き拡大し23.8%の増収。



■営業利益及び経常利益

調剤薬局事業の一部店舗に関しては32億円、医薬品製造販売事業の一部工場に関しては11億円の固定資産の減損損失を特別損失に計上。これらの一方、全体として8.6%の増収効果の下、全社を挙げたコスト抑制の寄与もあり、営業利益は20.5%の増益、経常利益は22.9%の増益を着実に確保。

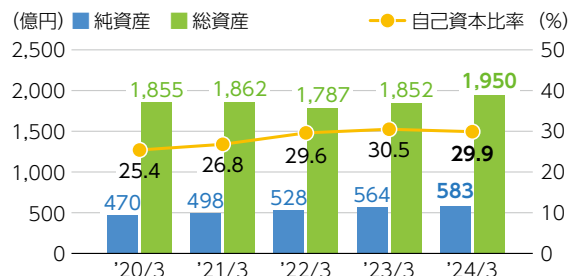


▶業績・財務

<https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/finance.html>

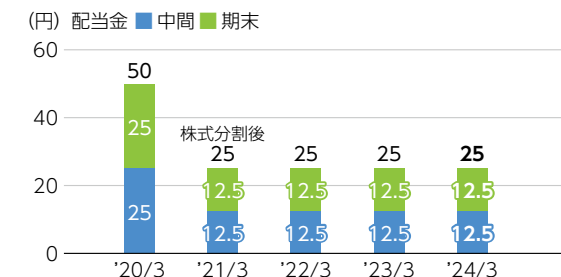
■総資産、純資産及び自己資本比率

総資産は主に現金及び預金の増加により、前期末比9,790百万円の増加。負債は主に買掛金の増加により、同7,921百万円の増加。純資産は同1,868百万円の増加。これらの結果、自己資本比率は同0.6ポイント減の29.9%となる。今後も財務体質の強化に努めるとともに、成長に向けた投資を積極的に実施していく方針。



■1株当たり配当金

2024年3月期は、中間配当12.50円+期末配当12.50円=年間配当25円にて実施。なお現時点において2025年3月期では増収減益予想の下、当期と同額の中間配当・期末配当を計画。引き続き当社としては安定性と継続性を重視した配当、そして機動的な資本政策の実施に努めていく方針。



※当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

日本調剤オンラインストア

新商品のご案内

これからの季節の乾燥対策、ヘパリン類似物質配合で肌に潤いを！

日本調剤オリジナル 「NC オールインワンジェル」を新発売



好評の「日本調剤の青汁」がリニューアル！
便通改善機能が報告されている
有胞子性乳酸菌を1億個*配合した機能性表示食品

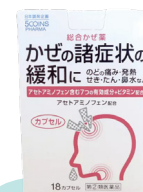
「日本調剤の青汁PREMIUM」を新発売

* 1袋あたりの含有量

日本調剤オリジナルコスメ
「NCプラセンタ美容液」がリニューアル！
乳酸菌分解プラセンタ発酵液を新配合した
「NCプラセンタ美容液PREMIUM」を発売



日本調剤のOTC医薬品シリーズ『5COINS PHARMA』の新商品



待望の総合風邪薬
「トピックスーパー
風邪薬」



より高品質な
1,100円ラインアップが
追加！
「ウルーノHPクリーム」

ビタミン配合の2商品

ビタミンB₂配合

「ピュアナCチュアブル錠」「アリナリッチEXハイ」「ナチュラルバランスBB」



▶日本調剤オンラインストア
<https://store.nicho.co.jp/>



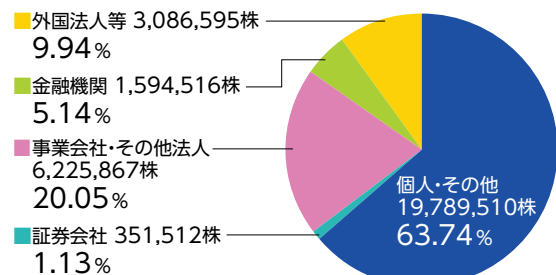
会社概要

商 号 日本調剤株式会社
 設 立 1980年3月
 本社所在地 〒100-6737
 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
 グラントウキョウノースタワー37階
 03-6810-0800 (代表)
 資 本 金 39億5,302万円
 連結売上高 3,403億円 (2024年3月期)
 従 業 員 数 正社員 4,642名 パート他 694名
 ※パート他は8時間換算に基づく年間平均雇用
 人数であります。(2024年3月31日現在)
 事 業 形 態 保険調剤薬局チェーンの経営

株式状況

発行可能株式総数 88,384,000株
 発行済株式の総数 31,048,000株
 株 主 数 12,590名

所有者別株式分布状況



(注)1. 当社所有の自己株式1,061,695株については、個人・その他に含めております。
 2. 比率については、小数点第3位を四捨五入しております。

役員 (2024年5月1日現在)

代表取締役社長 笠井 直人 取締役* 畠山 信之
 取締役 小柳 利幸 取締役* 東 葭 新
 取締役 小城 和紀 取締役* 原田 史緒
 取締役 藤本 佳久
 取締役 三津原 庸介
 取締役 井上 祐弘
 取締役 恩地 祥光
 取締役 野間 幹晴

(注)1. 取締役の恩地 祥光、野間 幹晴、東 葭 新、原田 史緒は社外取締役であります。
 2. ※は監査等委員であります。

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
三津原 庸介	6,640,000	22.14
三津原 博	4,800,000	16.01
株式会社三津原興産	3,600,000	12.01
合同会社マックスプランニング	2,240,000	7.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,296,600	4.32
日本調剤従業員持株会	1,004,300	3.35
三津原 陽子	800,000	2.67
姚 恵子	538,600	1.80
J.P.MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMSP RE CLIENT ASSETS-SETT ACCT	283,324	0.94
MSIP CLIENT SECURITIES	217,700	0.73

(注)1. 出資比率は、自己株式1,061,695株を控除して計算しております。
 2. 出資比率については、小数点第3位を四捨五入しております。

配当の状況

	2023年3月期	2024年3月期
中間配当	12.50円	12.50円
期末配当	12.50円	12.50円
配当性向	16.8%	29.3%

株主優待のご案内

毎年9月30日、3月31日の基準日に当社株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主さまを対象に、「日本調剤オンラインストア」で使える優待券を以下のとおり年2回贈呈いたします。

保有株式数	優待内容(年2回)
100株以上 500株未満	当社オンラインストア 優待券 1,500円分 (1,500円分の優待券1枚) 年間優待額: 3,000円
500株以上	当社オンラインストア 優待券 7,500円分 (1,500円分の優待券5枚) 年間優待額: 15,000円